

地域情報

(一社) 熊本県野菜振興協会菊池支部

すいか栽培におけるタバコカスミカメを用いた IPM 技術への取り組み

春すいかの栽培期間では、気温の上昇に伴い、野外からの害虫の飛び込みが増加し、害虫の増殖スピードも速くなるため効果的な防除技術が求められています。タバココナジラミおよびミナミキイロアザミウマは、ウイルス病¹⁾を媒介するため、防除が重要とされていますが、薬剤抵抗性の発達により従来の農薬だけでは防除が難しい状況にあります。

野菜振興協会菊池支部では、化学農薬のみに頼らない IPM 技術への取り組みの一環として、冬春果菜類のコナジラミ類およびアザミウマ類の防除に用いられている天敵タバコカスミカメ²⁾を利用した実証展示ほを設置し、春すいかにおける防除効果を調査しています。

今後も、管内のすいか産者の方々が効果的にコナジラミ類の防除に取り組めるよう、引き続き関係機関が一体となって支援を行っていきます。

1) タバココナジラミ : CCYV スイカ退緑えそ病

ミナミキイロアザミウマ : MYSV 黄化えそ病

2) タバコカスミカメ : 雑食性の捕食性天敵であり、コナジラミ類およびアザミウマ類の卵および幼虫を捕食する。無加温の春すいかでは、定着しやすい3月以降に導入する。



スイカ退緑えそ病の様子



クレオメに生息している
タバコカスミカメの調査